



平成 27 年 7 月 3 日

氷見市長 本川 祐治郎 様


加納振興会長 大門 清文



要 望 書

平素より、加納地区の農業振興に格別のご配慮を賜り、衷心より感謝を申し上げます。

これまで、当地区では農業基盤整備事業の導入を図りながら、水田農業に取り組むとともに周辺環境の保全にも鋭意努めて参りました。

しかしながら、近年、各施設の老朽化が進み、今後の活動の継続に大変不安を抱えております。

つきましては、下記の懸案事項の改善に、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 加納新池の改修について … (P1・2)
2. 加納潮止水門の改修について … (P3・4)
3. 上庄川護岸の浸食対策について … (P5・6)
4. 県道鹿西氷見線（加納・稻積用水路沿）の一部改良について… (P7・8)

1. 加納新池の改修について

① 要望趣旨

当地区の受益約 95ha の水田は、加納大池・加納新池・加納稲積用水・加納揚水機場・国営灌漑を用水源として耕作しております。

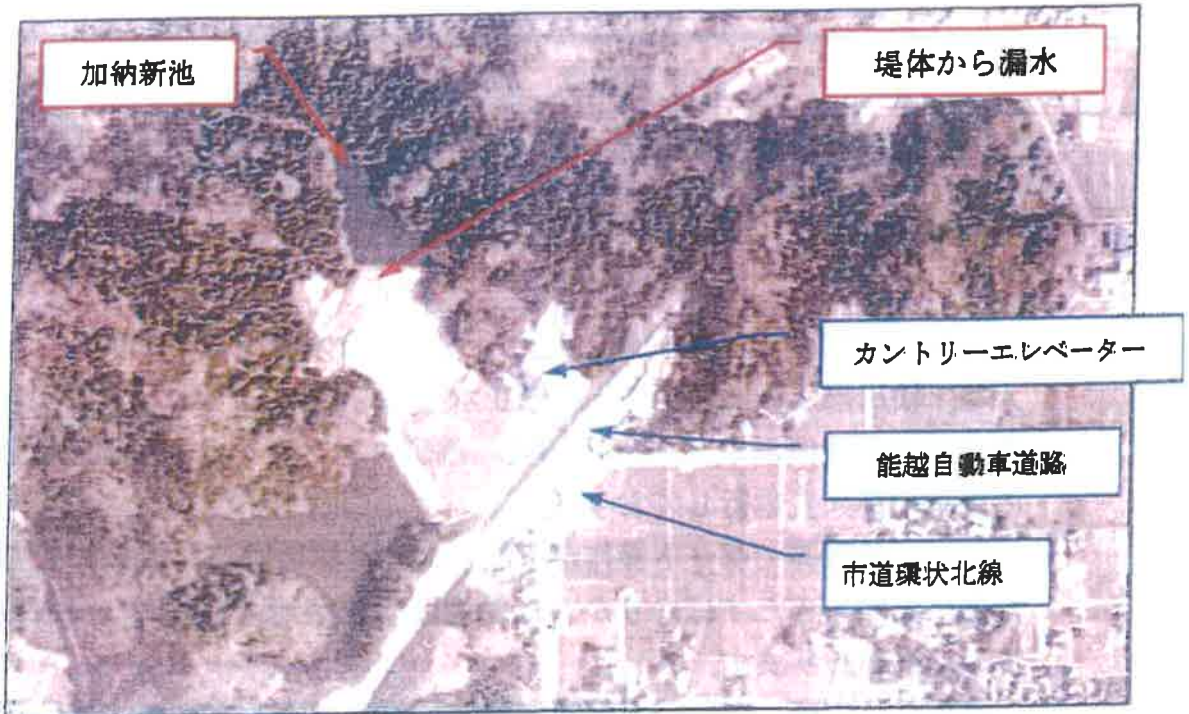
しかしながら、近年、施設の老朽化が進み、特に国営灌漑の注水池になっている加納新池につきましては、堤体下部からの漏水が激しく、万一、地震等災害時には決壊の恐れもあることから、下流側の能越自動車道、中部カントリー等の他、多数の人家にも被害が及ぶのではないかと危惧しております。

つきましては、加納新池の全面的な改修をお願いいたしたく、財政多難な折ではありますが、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

② 位置図



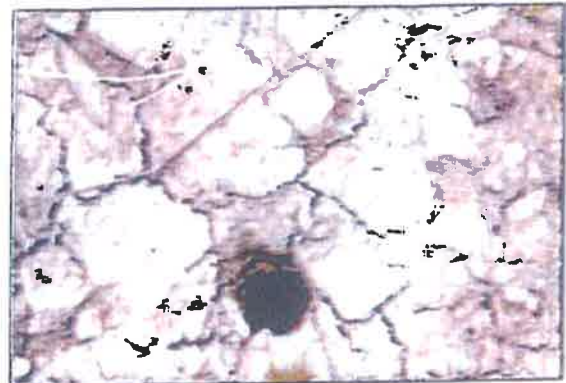
③ 状況写真



ため池直下に高速道路、環状北線、カントリーエレベータがある。



堤体の浸蝕



堤体に開いた穴



老朽化した斜樋



堤体からの漏水

2. 加納潮止水門の改修について

〔 要望者 加納潮止水門管理区 委員長 大門 清文
鞍川工区長 孫田 幸正 〕

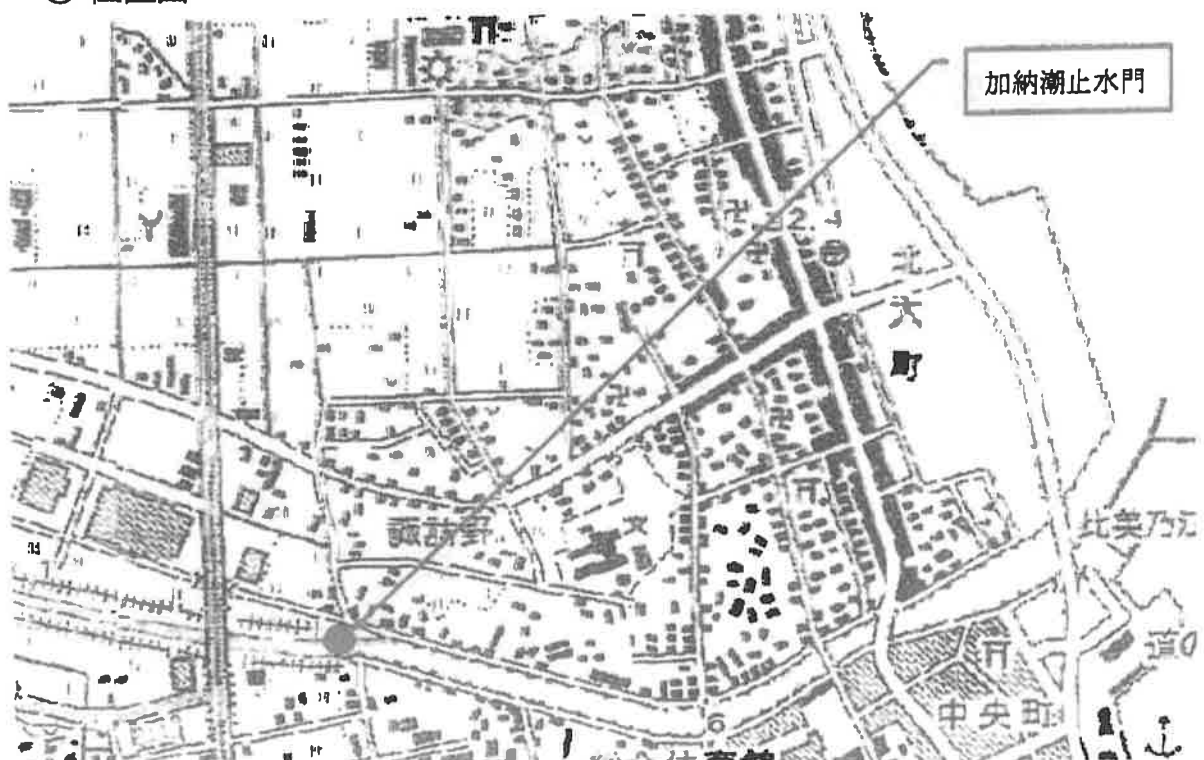
① 要望趣旨

加納及び鞍川地区の営農に当たって重要な水源となっている、加納揚水機・鞍川揚水機に架かる加納潮止水門は、昭和53年に、県営災害復旧事業により設置以来36年が経過し、基礎コンクリートの損傷劣化等施設の老朽化が大変進行しております。

万一、故障等でゲート操作が不能となった場合は、150haの受益地の営農に支障をきたすばかりか、近隣地区の住宅地にも甚大な浸水被害が及ぶ恐れがあります。

つきましては、財政状況極めて厳しい折とは存じますが、加納潮止水門の早期調査並びに改修工事の実施について、格別のご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

② 位置図



③ 状況写真



潮止水門全景



巻上げ機の腐食



コンクリートのひび割れ



扉体の腐食によるあて板補修



ローラーの腐食（1）



ローラーの腐食（2）

3. 上庄川護岸の浸食対策について

① 要望趣旨

当地区が毎年実施している野廻り（役員による地区内巡視）で、上庄川護岸（国道160号上庄川橋～市道御用橋から上流まで約700m区間）において、浸食状況の進行が確認されています。

平成24年9月に、県より中長期に亘る上庄川水系河川整備構想を説明されておりますが、現状の浸食拡大を防ぐ応急対策を講じていただきたく要望いたします。

② 位置図



③ 状況写真



4. 県道鹿西氷見線の一部改良について

① 要望趣旨

当地区営農の重要な用水源となっている加納・稲積用水路は県道鹿西氷見線の一部（約 700m）が併設区間となっており、毎年、維持管理のため水路の江掘及び法面の草刈を実施しております。

しかしながら、県道の路肩幅が狭隘であり、加えて近年の交通量の増加により、当該作業に大変苦慮しております。

つきましては、県道側路肩部に雑草が生えない構造に改良していただくようお願いいたします。

② 位置図



③ 状況写真



